



2022年3月29日

各 位

会 社 名 株式会社村田製作所
代表者名 代表取締役社長 中島 規巨
(コード：6981、東証第1部)
問合せ先 広報部長 小澤 敏之
(TEL. 075-955-6786)

米国 Resonant (レゾナント) 社の買収完了について

当社は、当社米国子会社の Murata Electronics North America, Inc. (以下「MENA」) による Resonant Inc. (以下「Resonant 社」) の買収手続きが完了いたしましたので、お知らせいたします。

MENA は、100%子会社として新たに設立した買収目的子会社である PJ Cosmos Acquisition Company, Inc. (以下「公開買付者」) を通じ、Resonant 社の普通株式の全てを1株当たり4.5米ドルの現金を対価として取得する株式公開買付け(以下「本公開買付け」)を米国東部時間2022年2月28日に開始し、米国東部時間2022年3月25日深夜12時をもって終了し、本公開買付けが成立しました。

また、本公開買付けの完了後、公開買付者と Resonant 社との、Resonant 社を存続会社とする合併手続きが米国東部時間2022年3月28日に完了し、Resonant 社は MENA の完全子会社となりました。本合併の完了日付で Resonant 社の NASDAQ での取引は停止されており、同社の株式は上場廃止となる予定です。

本買収の背景・狙いにつきましては、添付資料をご参照ください。

以 上

<村田製作所 プレスリリース>

株式会社村田製作所（以下「村田製作所」）は、RF フィルタのデザインに関するリーディングカンパニーである Resonant Inc.（以下、「Resonant」）の買収を米国時間 3 月 28 日に完了したことをお知らせします。

村田製作所はこれまで「エレクトロニクス産業のイノベーションを先導していく存在でありたい」という Innovator in Electronics に込められた想いを実践し、お客さまとの強固な信頼関係を構築することにより、コンデンサのムラタ、通信のムラタといったグローバルブランドを確立してきました。その結果、複数の電子部品において高いシェアを確保しており、通信用 SAW フィルタにおいても 50%の世界シェアを獲得しています。

村田製作所の事業の基盤領域の一つである通信市場では、さらなる通信速度の向上、多端末接続、低遅延の実現に向け、通信規格の高度化が着実に進み、現在は 5G や次世代の Wi-Fi 規格が普及し始めています。これらの規格を用いた高速通信を利用するためには、通信端末が高周波帯における信号を正確に受信する必要があることから、ノイズの原因となる周辺周波数の不要な信号を取り除き、必要な信号のみを低損失で通過させる、帯域幅の広い高性能な高周波フィルタのニーズが高まっています。

Resonant 社独自の「XBAR 技術^{*}」は、今後ますます拡大していく高周波帯において、高減衰、低損失、急峻性といった特性を高いレベルで実現しているため、従来技術ではノイズとして受信せざるを得なかった信号をさらに抑制することができます。5G などの高速で快適な無線通信を実現するために極めて重要な技術です。

※ 圧電単結晶薄膜を活用する高周波・高耐電力対応が可能なフィルタ技術

本買収により、村田製作所がこれまで SAW フィルタや I.H.P. SAW フィルタなどの電子部品で培ってきたフィルタ技術やプロセス技術、モノづくり力を Resonant 社が有する XBAR 技術と融合させ、さらに優れた高周波フィルタを提供し、通信市場におけるマーケットリーダーとしての地位をより強固なものにできると確信しています。

村田製作所 代表取締役社長の中島 規巨は、次のように述べています。

「高周波帯の利用が進むにつれ、従来利用されてきた周波数帯と同様に数多くの周波数帯が隣接していくことが予想されます。高速通信規格の恩恵を享受するためには、どのような通信環境下であっても要求仕様に応える高い信頼性、精度を持った電子部品が必要不可欠です。Resonant の技術と村田製作所グループが有する技術を組み合わせ、さらに優れた製品をお客さまに提供することができ、大変うれしく思います。」

本買収の詳細につきましては、以下の適時開示をご参照ください。

[2022年2月15日 米国 Resonant 社買収に関する契約締結及び株式公開買付けの開始予定に関するお知らせ](#)